


MOBILIER NATIONAL

TECTONA
PARIS

プレスリリース

2024年4月24日

「TECTONA ET LE MOBILIER NATIONAL (テクトナとモビリエ・ナショナル)」がCOFREXとパートナーシップを結び、2025年大阪・関西万博のフランス館のために新機軸のインテリアを共同制作

2025年4月13日から10月13日までの、大阪・関西万博のフランス館において、テクトナとモビリエ・ナショナルはジャン＝バティスト・ファストレ (Jean-Baptiste Fastrez) のデザインによる新機軸のインテリアのシリーズを制作すると発表しました。



サヴォワフェールがもつ卓越のシンボルである2025年大阪・関西万博のフランス館は、テクトナとモビリエ・ナショナルをつなぐ類い稀なるパートナーシップの宝石箱となります。

Jean-Pierre Blanc (ジャン＝ピエール・ブラン) が指揮するVilla Noailles (ヴィラ・ノアイユ) とのプロジェクト公募の結果、特にデザインのスペシャリストから成る審査委員会は、Jean-Baptiste Fastrez (ジャン＝バティスト・ファストレ) が2025年大阪・関西万博のフランス館のために特別に制作した、ここでしか実現しないインテリアのシリーズの制作を採用しました。

パビリオンの編み出す糸である「愛の讃歌」にインスパイアされて「Kaeru (カエル)」と名付けられたコレクションは、サヴォワフェールとデザインにおけるフランスの卓越した大胆なエスプリを体現しています。コレクションはテクトナによって企画・創作がなされ、伝統と現代性のあいだに調和を生み出すものです。このコレクションは2024年の末に、フランス館のプレゼンテーションと、万国博覧会の6ヶ月続く計画を発表する大会議で披露される予定です。

「この野心的なプロジェクトは、1967年にモントリオール万博のために制作されたOlivier Mourgue (オリヴィエ・ムルグ) の肘掛椅子や、1970年大阪万博のためのPierre Paulin (ピエール・ポーラン) のセットのように、大規模で国際的な出会いの機会を生かして、フランス製の創作物をプロモーションするというモビリエ・ナショナルの長い伝統に刻まれたものです」

エルヴェ・ルモワヌ (Hervé Lemoine)、モビリエ・ナショナル会長兼
セーヴル&リモージュ・セラミック美術館会長



「テクトナは、才能あるデザイナーの協力を得て、国内外の文化施設のために屋外用のインテリアを製造販売し続けています。2025年大阪・関西万博のフランス館のためにここだけの限定製造プロジェクトを行うことは、テクトナの使命のひとつであり、若いクリエイターを支援すると共に、当社のサヴォワフェールを継承するという事です。」

アルノー・ブリュネル (Arnaud Brunel) 、テクトナ会長



「このインテリアを創作するにおいて、Jean-Baptiste Fastrez (ジャン=バティスト・ファストレ) が、フランス館の赤い糸の讃歌をさまざまに表現する術に長けていたのは素晴らしいです。パビリオンのビストロの中で、来場者がフランス風の高級感ある時間を楽しむことができるのはまったくテクトナのおかげです。」

ジャック・メール、COFREX会長兼2025年大阪・関西万博、フランス総監督

「大阪においてフランス代表として、一流デザイナーの足跡をたどるのは、誇らしくも身が引き締まります。私のプロジェクトは我が国のデザインに敬意を捧げるものになります。質素で風変わり、伝統に刻まれていながらアヴァンギャルドに打ってでるものです。」

Jean-Baptiste Fastrez (ジャン=バティスト・ファストレ) 、受賞デザイナー

ル・モビリエ・ナショナル

17世紀から美術・工芸を支えてきた、「モビリエ・ナショナル」は文化省に属する機関です。その使命は、世界随一のコレクションの保存と修復を確実にし、卓越したサヴォワフェールを不滅のものとして継承することです。重要な文化遺産であるこの施設は、現代美術の創作とフランス式装飾美術の振興において主要な役割を果たしています。

フランスのサヴォワフェールを促進し、世界中の見本市や展示会で常に存在を印象付けることにより、美術工芸品を支援する国家戦略の国際的側面での案内役を担っています。

報道関係お問い合わせ先

モビリエ・ナショナル

アンヌ・ドゥリヤン
(Anne Derrien)
anne.derrien@culture.gouv.fr
+33 1 44 08 52 86

テクトナ

ミラナ・ブリュネル
(Milana Brunel)
mb@tectona.fr
+33 6 12 60 22 22

COFREX

ナタリー・メルシエ
(Nathalie Mercier)
Nathalie.mercier@cofrex.fr
+33 6 14 61 91 73

クロエ・ヴィラノヴァ

(Chloé Villanova)
Chloe.villanova@cofrex.fr
+33 6 76 91 33 22

モビリエ・ナショナル

1 Rue Berbier du Mets,
75013 Paris
mobiliernational.culture.gouv.fr

テクトナ

36 rue du Bac, 75007 Paris
tectona.fr

COFREX

77 boulevard Saint-Jacques,
75014 Paris
Cofrex.fr

テクトナ

1977年創業。テクトナはいち早くエクステリアのインテリアにおけるフランスの基準となりました。明解で飾りけのない形状、素材への徹底したこだわり、工芸的にも技術的にもサヴォワフェールを自分のものとしている。それが最初から、テクトナ・シグネチャーの基礎にあります。

1990年代から、テクトナはアウトドアライフの進化とマッチしたモデルを考案するために、デザイナーに門戸を開いています。そうしてテクトナは、アンドレ・プットマン (Andrée Putman)、ロナン&エルワン・ブルレック (Ronan & Erwan Bouroullec)、ピエール・シャルパン (Pierre Charpin) などのデザイナーとコラボレーションしています。テクトナは2023年からヴィラ・ノアイユ (Villa Noailles) の「デザイン・パレード・フェスティバル」を後援しており、卓越性と若い才能に向けて積極的にかかわり合っています。

Cofrex

2018年1月設立の公営企業COFREX SASは、万国博覧会や国際博覧会へのフランスの出展の事前準備、組織、実施を専門とする初の常設機関です。これまでの展示会の経験に基づき、コストと負担を最小限に抑えつつ最高のパフォーマンスを発揮する、サステナブルなアプローチを実現します。官と民のパートナーシップで構成されています。フランスのイメージと魅力を打ち出します。

Jean-Baptiste Fastrez (ジャン＝バティスト・ファストレ)

Jean-Baptiste Fastrez (ジャン＝バティスト・ファストレ) は1984年生まれのフランス人デザイナーです。2010年にENSCIを卒業後、2012年には自分のスタジオを開きました。それからMoustache、Manufacture de Sèvres、Kvadrat、CIRVA、Tai Ping、Galerie Kreoなどのさまざまなブランドやエディターとコラボレーションしました。

彼は、2011年にヴィラ・ノアイユ (フランス、イエール) での「デザインパレード6審査委員会グランプリ」、2019年に「パリ市立クリエイション・グランプリ」など数々の受賞歴を獲得しています。